

小樽南ロータリークラブ会報

よいことのために
手を取りあおう



2025-2026年度R1第2510地区目標

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 会員増強 | 5. 女性会員増強 |
| 2. クラブ活性化 | 6. 会員研修充実 |
| 3. 奉仕活動推進 | 7. 紛争予防と平和推進 |
| 4. 若い世代とのつながり強化 | 8. ロータリー財団活動強化 |

My Rotary
2510地区ホームページ
ICT委員会Facebook
各委員会へのメール



2025-2026年度 地区活動方針
Revival (リバイバル)
～原点に立ち返り、未来への繁栄へ～

- 例会場：オーセントホテル小樽 ● 例会日：毎週金曜日 12時30分
- 事務局：〒047-0032 小樽市稲穂 2-15-1 (オーセントホテル内) TEL.0134-27-8123 FAX.0134-26-6935

● Club Homepage : URL <https://rid2510.org/otarusouth/>

ロータリー創立記念小樽3クラブ合同例会

1960年創立
昭和35年2月5日

2026年2月27日発行
通巻第3119号

22

今週 2月27日
● 茨川ガバナー補佐公式訪問

来週 3月6日
● 通常例会

再来週 3月13日
● 通常例会

ロータリー創立記念小樽3クラブ合同例会 「小樽商工会議所130周年を越えて」【商工会議所 事務局長 山崎久様】



1. はじめに

小樽商工会議所は、日頃より多くの皆様から多大なるご理解とご協力を賜り、おかげさまで昨年、創立130周年を迎えることができました。

私どもの組織は、市内で事業を営む方々による会員組織であり、現在は約1500の事業所様に支えられています。全国に515箇所、道内に42箇所設置されていますが、それぞれが独立した組織として運営されています。商工会議所法に基づき、「商工業の振興」と「社会一般の福祉の増進」を目的としており、具体的には「個社への支援」と「街づくり」という二つの大きな役割を担っています。

2. 設立の背景と歴史

日本の商工会議所の歴史は明治時代に遡ります。渋沢栄一氏が英国の組織を参考に、日本初の「東京商法会議所」を設立したのが始まりです。

当時の小樽は、明治20年代から30年代にかけて人口が爆発的に増加し、目覚ましい発展を遂げていました。北海道特有の制度背景から所得税や徴兵義務が免除されていた時代でしたが、経済界からは組織化を求める声が強くなりました。その結果、明治28年12月2日、

全国で41番目、道内では2番目の商業会議所として設立が認可されたのです。

3. 130年の歴史における三つの大きな功績

長きにわたる歩みの中で、小樽の発展を決定づけた主要な取り組みを三点ご紹介いたします。

- ・小樽高等商業学校（現・小樽商科大学）の誘致
明治31年、当時の商工会議所が「国立の高等商業学校を小樽に」と提唱したことがきっかけとなりました。官民一体となった粘り強い誘致運動を展開した結果、激しい競争の末に小樽への設置が実現し、今日の教育環境の礎となりました。

- ・新日本海フェリーの開設

第16代会頭・木村円吉氏は、幾何学の定理を日本地図に当てはめ、日本海側を經由して関西圏へ結ぶルートの優位性を確信しました。自ら政界や金融機関への交渉に奔走した結果、昭和45年に小樽―舞鶴間の第1船が就航しました。今や小樽の物流に欠かせない重要なインフラとなっています。

- ・「産業振興プロジェクト」による地域活性化

平成22年、山本秀明会頭の就任とともに始動した最近の取り組みです。若者の雇用創出を目指し、「地産志食りべし」を掲げた食の魅力発信や商品開発に注力しました。また、港湾再開発の提言は、現在の「小樽港国際インフォメーションセンター」の完成や、港の賑わい創出へと結実しています。

4. 今後に向けて

現在、小樽市は人口減少や人手不足、オーバーツーリズムといった多くの課題に直面しています。中野会頭の新体制のもと、私たちは今一度、商工会議所に与えられた使命を胸に刻み、事業者支援と街づくりの両輪をより強固に推進してまいります。

これからも地域経済の牽引役として、小樽の持続的な発展のために尽力してまいります。

日時：2026年2月21日 場所：グランドパーク小樽
ロータリー創立記念小樽3クラブ合同例会



小樽南RC次年度3役の紹介



小樽RC次年度3役の紹介



佐藤友美会長ごあいさつ



第6グループ笈川長生ガバナー補佐ごあいさつ



ロータリーソング「手に手つないで」



■小樽銭函ロータリークラブ 坂口会長による報告

1975年以来、クラブ創立本年度で50周年となりましたが、ここ数年、コロナ禍を挟みまして会員数が減少いたしました。

今後、持続的に会長幹事を立ててのクラブ運営が非常に困難な状況となりました。本年度、2025・26年度、6月30日をもって小樽銭函ロータリークラブ、クラブを終結し、解散することをクラブ内で決定いたしました。これまで賜りました多大なるご支援に感謝しております。3月21日にも1が残っておりますので、最後までみんなで協力して終結したいと思います。誠にありがとうございました。

